

ミズムシ

Asellus hilgendorffii

ワラジムシ目 ミズムシ科



ミズムシ

魚類

名前の由来

水中に生息するからと考えられる。漢字名：水虫

底生動物

形態的特徴

体長10mm前後。灰色でワラジムシに似る。

類似種と見分け方：ヨコエビ亜目の仲間。

ヨコエビの多くは茶褐色で縦に平たい。

両生類
爬虫類



ミズムシ

トンボ

生息環境・分布

流れの緩やかな場所の水草の根部、石の裏、腐植堆積物内などに生息する。

環境省・国交省水質調査：「きたない水」の指標生物。

分布：国外分布は、不明。国内分布は、北海道～九州。

北海道内では、普通に分布。

十勝地方では、普通に分布。

チョウ
ウ

樹木

食性・他の生物との関わり

腐植質を食べる。

魚類等の餌となる。スカベンジャー（掃除屋）として重要な働きをしている。

（在来種）
草花

繁殖生態・寿命

産卵された卵はメス腹部の保育囊に入れられて、孵化まで保護される。

（外来種）
草花

興味深い話

■底生動物に同じく「ミズムシ」という種名だが、全く別の生物がいる。こちらのミズムシは昆虫で、カメムシ目である。

ている尊い生き物である。腐植質や死体を食べる生物はスカベンジャー（掃除屋）と呼ばれる。

■汚濁に耐えうる種であり、富栄養の指標となる。しかし清流にも生息する。汚い所に棲むということで印象が良くない場合もあるが、腐植質を食べることで水環境を浄化し

（水辺）
鳥類

配慮事項

保護の対象となる種ではないが生態系において重要な役割を担っている。

（草原）
鳥類
樹林

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
確認できる時期												

参考文献

「日本動物大百科 7 無脊椎動物」日高敏隆 平凡社 1997